



プチクル関空マリーナ 4月22日



店の中から関空マリーナを見る



おいしそうな料理が並びました。
左：前菜です
下：各種ピザです



今日はヨットクラブのプチクルージングの日です。でも、あいにくの雨模様・・・今回はヨットで行くのをあきらめ車で移動します（編集部注：ドリーマーのみヨットで参加）。お酒の飲まないメンバーがいると助かりますねえ。

お食事は、知り合いのお店、「Pizzeria S Di Piu・ピッツェリア エッセ ディ ピュ」舌をかみそうな名前です。

幹事の我々が到着したときには、みんな我慢できず飲み始めていました。¥2500 のランチコース。前菜から始まり、ワインをゴクゴク。石釜焼きのピZZAは香りもよくおいしい。みんな、とっても満足。まだまだ運ばれてきます。ピZZAはめっちゃおいしい。ワインも追加！パスタもうまい！デザートもおいしい～。満腹でした～。（服部）

唯一ヨットで参加したドリーマー



ロープ教室 4月29日



ロープ教室開かれる

4月29日、クラブハウス会議室でロープ加工教室が開かれ、ドミンゴの吉田講師の説明で4人の参加者が頭をひねりながらロープと格闘。8打ちロープのアイズプライス、3つ打ちロープのマン・ロープノットを立派に完成させるまでになりました。

なお、次回は冬のシーズンオフに計画されますが、それまでも個人的なレッスンの希望があればOKとのこと。



挨拶する市川会長

カンパ〜イ
と吉田元会長



みんなでおいしい料理を堪能します。

つっじレース 4月15日



前回のさくらレースに引き続き、微風のレースになりました（雨が無いだけましか・・・）。前回は参加艇数少なく心配しましたが、今回は大分回復したのでほっとしました。（レースの様様を撮影したDVDが、クラブハウスで観られます。）



IRC優勝チビズル



IRC2位EMI



IRC3位SPRIT OF SHIWAKU



オープン優勝TWO TON



オープン2位YAJIROBEY



オープン3位響

オープン4位 HEAT WAVE



オープン4位 プチスター

クラス	艇名	艇種	順位	修正
IRC	チビズル	SEAM31	3	1
IRC	EMI	Mumu36	3	2
IRC	sprit of shiwaku	mumu30	6	3
OA	TWOTON	J92j	4	1
OA	YAJIROBEY	J-24	5	2
OA	響	Y262T	6	3
OA	HeatWave	Farr-25PL	6	4
OA	プチスター	J24	9	5

関空1周レース

5月4日



関空島に駐機している飛行機の前を通過するレース艇

第2回関空一周ヨットレースは、GW後半の5月3日～4日、82艇、435名のエントリーを得、昨年を大幅に上回る規模となりました。

西は山口県・玄海ヨットクラブ、広島・観音ヨットクラブ、南は和歌山の海南、和歌浦・マリナーシティ。さらに徳島他遠方からと続々回航され各艇が淡輪ヨットハーバーに集結しました。

5月2日は、明石海峡が大荒れとなり、盛大なスプレーを浴びての回航となりました。

5月3日は、淡輪沖で11:00～35艇の参加でプラクティスレース。小雨まじり、微風、強潮。16:00～関空1周ヨットレースの艇長会議。17:00～前夜祭(ウェルカムパーティー)を開催。

パーティーは心配された雨もあがり、来賓、運営メンバーを加えると500人近い参加人数。EMIの鳥枝君の軽妙な司会で開幕。大会会長 大阪府マリナー協会理事長 平岡英信様の開会ご挨拶に続き関西国際空港(株)(KIX)専務取締役 伊藤誠様のご発声でカンパニー!

ポップスグループバンド・ベリーダンスで盛り上がるなか、期待の抽選会でパーティーは最高潮。特賞:ルフトハンザドイツ航空様提供:ヨーロッパ旅行ペアチケットは、OTYC「アプローズ」の平松香津さんに。またマカオ航空様ご提供のマカオ旅行ペアチケットは北港YC「アマルフィ」がゲットされました。遠来賞は白石島の舵杯参加後淡輪まで足をのばして下さった玄海ヨットクラブの「悟空」が受賞

さていよいよ5月4日、関空1周ヨットレース本番は、早朝から白波の立つコンディション。曇り。8:10に、オールフェアでのスタート。80艇のスタートは壮観。一気に展開されるスピンの花は、感動の一瞬!20ノット前後の風に恵まれ、12時までには、殆どの艇がフィニッシュを迎える早いレース展開となりました。

佐藤レース委員長のレース講評

・プラクティスレース

練習レースにもかかわらず、レーサー・クルーザータイプと多数の参加がありました。ただ淡輪沖に出てみると南東からの風弱くスタートさせるには少し力不足です。天候の回復とともに西からの風を期待しましたが、これも吹き出す気配もありません。第1レースは南東の風3m/sのなかスタートしましたが、潮がきつくなかなかフリートはラインをクロスできず、多数のDNS(スタートせず)が出ました。このレースJ24のヤジロベイがトップ回航し気を吐きました。

続いて第2レースも同じ南東のコンディション。みさき公園からの3m/sの程度の風でこの角度からのレースはあまり

経験しません。潮も弱くなり、レース艇は左右に別れ1マイルの上マークを目指します。レーサーとクルージングタイプ小型艇の差は歴然としフリートは長く尾を引いたようになり周回遅れも出だします。途中、風も弱くなり2上、淡パトで全ての艇を短縮でタイムを取っていただきました。

・関空1周ヨットレース

関空一周レースと言う「名前・ゴロ」の聞こえが良いせいか、第1回を上回る82艇が淡輪に集まり、締め切り後も参加の問い合わせが多数あったようです。

事前の営業活動・ポスターの配布なども効いているかもしれないが、他のフリートから注目されており、連休の日程も参加しやすいのが要因です。

レースは天候晴れ、西の風10m/s程度の風に恵まれ、早いペースで展開し昼過ぎに全艇フィニッシュしました。スタート後、参加艇のスピニングが横一線に並びワカシでした。上空を通過するジェットからも注目されたと思います。

コース的には特にむずかしいレグもなく、簡単に走れたようで事故もなくレースは無事終了しました。レース委員長としてまず安堵しました。

表彰式では、大阪府知事賞として、IRCクラス、オープンAクラス、オープンBクラス 各々上位3位まで、表彰状・トロフィーが授与されました。主な成績は下記のとおりです。

最後に、武田大会副会長・市川大会実行委員長から、当レースの成功に向けてご協力頂いた各企業・団体・実行委員・ボランティアの皆様への感謝とお礼の挨拶と、来年の関空1周ヨットレースでの再会の呼び掛けがされました。

上海より、関空1周ヨットレース視察団が来訪

大阪府マリナー協会 平岡理事長の招聘を受け、上海から季樹青氏を団長とする6名が、当レースと、海洋センターヨットクラブの活動の視察を目的として来淡されました。3日のプラクティスレース、4日の関空1周ヨットレースにはTWOTON、海燕、SPRIT OF SHIWAKUに分乗し、レースを満喫されました。また、4日のレース表彰式終了後、OTYC主催の交流会をもち、親睦を温めました。席上「来年は、新艇を建造し、上海から回航し、当レースに参加したい」との表明がありました。

関空1週レース成績

(各クラス上位および淡輪勢上位のみ記載 詳細はHPで)

Aクラス	1位 アルテミス
	2位 海燕2
	3位 ドリーマー
Bクラス	1位 無双
	2位 HEAT WAVE IV
	3位 モアナ
IRCクラス	1位 KINE KINE 11
	2位 NUFUZO
	3位 BAFFI
	15位 SPIRIT OF SHIWAKU



ウェルカムパーティーの様子
大盛況でした。



各艇一斉にスタート。



連絡橋に向かうTAM、玉子丸、KINE KINE11。この付近は関空島の陰になっているせいかうねりは大きくない。



連絡橋を通過したドリーマー（Aクラス3位）とCONSTANZE。



強風の中第3マークへ向かうKINE KINE11（IRC優勝）。



関空島沖合いではうねりが大きくなった。強風・うねりをもとめせず爆走しファーストフィニッシュを飾ったNOFUZO（IRC2位）。



強風の中大きくヒールしたアルビレオ5。このような大型艇でも30度以上ヒールしてようだった。



大きなうねりに叩かれて飛び上がったアルテミス（Aクラス優勝）。3-4マーク間は大荒れ（写真の見た目以上に大きなうねりです）で大迫力のレースとなった。



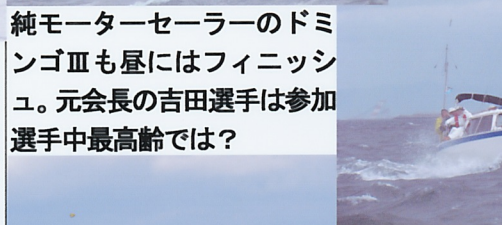
中国ゲストとの日中合同チームとなった海燕2（Aクラス2位）中国ゲストは他に2隻のヨットに分乗し参加した。



Bクラス優勝の無双



うねりを切り裂くグラシヤSPOCO



純モーターセーラーのドミンゴⅢも昼にはフィニッシュ。元会長の吉田選手は参加選手中最高齢では？



大きなうねりのなか難航する運営艇イーハトープ。運営側も苦労した。うねりに突っ込み巻き上げた飛沫で前半部が隠れてしまっている。